

実施計画書（案）

「ふくしま健康調査（仮称）」

2011 年 5 月 23 日 ver.3

福島県立医科大学

事業の概要（案）

事業名称	ふくしま健康調査（仮称）
実施主体	福島県
実施体制・協力機関	福島県からの委託により福島県立医科大学が中心となり、全国都道府県・市町村、放射線影響研究機関協議会、内閣府、経済産業省、文部科学省、厚生労働省、医師会、病院会、日本看護協会、全国大学・学会等の協力の下実施する。
目 的	1. 東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出により、全県民が、放射線の被ばくの不安を多かれ少なかれ抱えることとなった。そこで、県民の生命と健康を守るという立場から、全県民の被ばく放射線量の推定評価を行い、安全かどうかを確認する。 2. 国が指定した地域（避難区域、緊急時避難準備区域、及び計画的避難区域）に住んでいる住民、及び避難した住民、さらに、県内の乳幼児から中学生までの健康管理・生活支援のための判断材料とするため、詳細な調査を行い、それらに基づき、必要な支援を実施する。 3. 対象住民の将来にわたる健康管理・生活支援のために、今後も継続して定期的に調査を実施する。
対 象	1. 全県民（202万五千人）を基本調査（放射線量の推定評価）の対象者とする。 また、詳細調査の対象は、 2. 国が指定した地域（避難区域、緊急時避難準備区域、及び計画的避難区域）の現住者、及び避難先が県内の者 3. 県外避難所の避難者（3万4千人）（上記、2と合わせて約20万人） 4. 県内のすべての乳幼児から中学生（震災約28万人）は、さらに、甲状腺エコー検査の対象者とする。
方 法	福島県が、具体的な調査は福島県立医科大学に委託し、関係市町村、関連機関等の協力を得て実施する。 調査自体は、強制ではなく、任意であり、インフォームドコンセントを得たうえで実施する。収集されたすべてのデータは、個人情報保護に最大限の配慮を行い、保管・管理する。また、必要と考えられる生体試料（血液・尿等）の採取を実施し、長期に保存し、分析評価を行う。 各住民の被ばく放射線量の推定評価は原則として、個人宛に通知する。その他の調査結果は速やかに個人宛に通知する。 対象者は以後、原則、毎年1回継続調査（内容未定）を実施する。 調査期間は30年とし、それ以降については、今後検討する。
スケジュール	5月13日 ・「健康増進及び疫学調査に関する検討会（仮称）準備会 5月27日 ・「ふくしま健康調査（仮称）」検討会 ・以降は、未定。

目次（修正中）

1. 目的	4
2. 対象となる住民	5
3. 調査内容	5
4. アウトカム評価	9
5. 評価委員会（仮称）、国際諮問委員会（仮称）	9
6. スケジュール	9
7. 実施体制組織図	9
8. その他	9
・本件問い合わせ先	13

1. 目的

2011（平成 23）年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出により、福島県の全県民が、放射線の被ばくの不安を多かれ少なかれ抱えることとなった。そこで、県民の生命と健康を守るという立場から、全県民の被ばく放射線量の推定評価を行い、安全かどうかを確認する。科学的な評価を行うことで、県民の被ばくに対する不安の軽減に資することが期待される。

また、国が指定した地域（避難区域、緊急時避難準備区域、及び計画的避難区域）に住んでいる住民、及び避難した住民、さらに、県内の乳幼児から中学生までの健康管理・生活支援のための判断材料とするため、心の健康状態、生活習慣などに関する詳細な調査を行い、それらに基づき、必要な支援を実施する。

さらに、対象住民の将来にわたる健康管理・生活支援のために、今後も継続して定期的に調査を実施する。

2. 対象となる住民

本「ふくしま健康調査（仮称）」の対象者は、福島県の全県民（202 万五千人）である。全県民に対して基本調査（被ばく放射線量の推計評価）を実施する。

うち、国が指定した地域（避難区域、緊急時避難準備区域、及び計画的避難区域）（図 1 参照）を有する 11 市町村に住民票のある約 20 万人の住民（現住者、及び原則として避難先が把握可能な避難者は約 5 万 9 千人）を詳細調査の対象とする。乳幼児から中学生までに対しては、甲状腺エコー検査の対象とする。

1. 全県民（202 万五千人）を基本調査（放射線量の推計評価）対象者
2. 避難区域、緊急時避難準備区域及び計画的避難区域の現住者、（〇万人：後日確定）、及び避難先が県内の者（2 万 4 千人？）
3. 県外避難所（3 万 4 千人？、原則全箇所、ただし、50 人以上/1 か所）
4. 乳幼児から中学生までの約 28 万人。

※詳細な対象人数、所在場所等については、今後の調査を経て確定。

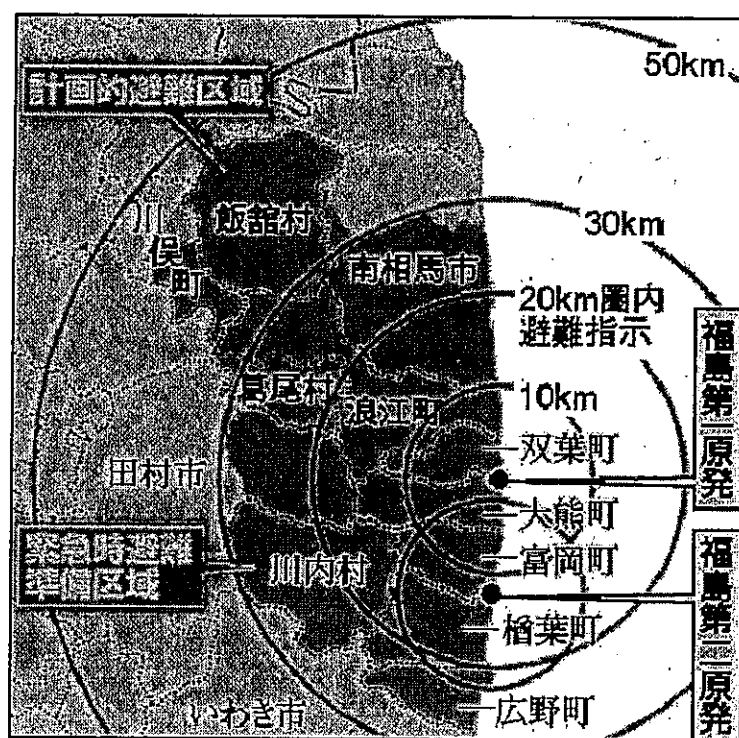


図1. 避難区域等(2011 年 4 月 18 日時点).

* 参考人口	浪江町	21,434 人	南相馬市	70,895 人
	双葉町	7,093 人	田村市	40,434 人
	大熊町	11,505 人		
	富岡町	15,827 人		
	楢葉町	8,042 人		
	広野町	5,481 人		
	葛尾村	1,566 人		
	川内村	2,992 人		

3. 調査内容

1) 調査方法

具体的な調査内容については福島県立医科大学が福島県からの委託に基づき設計し、調査は福島県の責任において実施する。福島県は関係市町村、避難者受入れ都道府県・市町村、放射線影響研究機関協議会、内閣府、経済産業省、文部科学省、厚生労働省、日本医師会、日本病院会、日本看護協会、技師会（放射線・臨床検査）、全国大学・学会等関連機関等の協力を得て実施する。

収集されたすべてのデータは、個人情報保護に最大限の配慮を行い、保管・管理する。

各住民の被ばく放射線量の推定評価は原則として、個人宛に通知する。その他の調査結果は速やかに個人宛に通知する。また、必要と考えられる生体試料（血液・尿等）の採取を実施し、長期に保存し、分析評価を行う。

対象者は以後、原則、毎年1回継続調査（内容は未定）を実施する。

調査期間は30年とし、それ以降については、今後検討する。

2) 調査項目（次ページ参照）

上記、1. 全県民を対象として、基本調査項目（①～④）を実施する。

2～4の対象者には、詳細調査項目（⑦～⑨）を実施する（詳細は次ページ）。

<基本調査項目>

- ①基本属性：氏名、性別、生年月日、住所、本籍、同居家族、等
- ②住民行動調査：3月11日以降、調査時まで。
- ③野菜・牛乳等の食品摂取状況：3月11日以降、3月末まで。
- ④ヨウ素剤の服用の有無

<詳細調査項目（調査会場、または、病院等で実施）>

- ①基本属性：氏名、性別、生年月日、住所、本籍、同居家族、等
- ②こころの健康度評価：
 - 小学生⇒ CBCL (Child Behavior Checklist) (22項目)：親が実施。
 - 中学生⇒ YSR (19項目)：本人が記入（使用する調査票は要検討）。
 - 15歳以上⇒ K6 (Kessler, 2003, 6項目)、IES-R (Impact of Event Scale- Revised ; 22項目)
- ③健康関連評価：健康状態、既往歴（高血圧、糖尿病、脂質異常症、がん、脳卒中、心臓病、肺炎、慢性肝炎、50歳以後の骨折、甲状腺疾患、精神疾患）、妊娠・授乳の有無、医療被曝の既往（CT検査-頭・胸・腹・その他、透視検査-胃・大腸・その他、血管造影検査-脳・心臓・肝臓・その他、放射線療法）
- ④生活習慣評価：日常生活機能評価、睡眠、喫煙（震災前後での変化）、飲酒（震災前後での変化）、食事摂取品目、運動習慣、25歳頃の体重、放射線の健康リスクについての認識、放射線から身を守るための行動に対する意図
- ⑤社会・経済的項目の評価：就業状況、教育歴

⑥身体計測（直接計測）：身長・体重、脈拍、血圧

⑦採血：一般項目、他（今後検討）⇒凍結保存

⑧採尿：尿糖、尿たんぱく ⇒凍結保存

⑨甲状腺エコー検査：小児全員に実施

⑩甲状腺モニター：ガイガーカウンターによる評価は、全対象者から10分の1抽出とする。

甲状腺被曝線量評価は、調査会場で実施する。

*全身直接評価（Whole-Body Counter）：原則実施しない。

（以下は、今後修正の可能性あり）

詳細調査項目一覧(案)		●：全員実施 ○：抽出					
		小児			成人・高校生		
		乳幼児	小学生	中学生	男性	女性	
						非妊娠	妊婦・授乳婦
質問紙調査	基本属性	●	●	●	●	●	●
	心身の健康	-	●	●	●	●	●
	健康関連項目	●	●	●	●	●	●
	生活習慣項目	●	●	●	●	●	●
	社会的項目	-	-	-	●	●	●
	妊娠・出産関係項目	-	-	-	-	-	●
身体計測	身長・体重	●	●	●	●	●	●
	脈拍	●	●	●	●	●	●
	血圧	-	-	-	●	●	●
採血	一般項目	●	●	●	●	●	●
	その他	●	●	●	●	●	●
採尿		●	●	●	●	●	●
甲状腺	エコー検査	●	●	●	-	-	-
	モニター	○	○	○	○	○	○

3) 調査手順

調査マニュアルを今後作成し、それに基づき実施する。

調査スタッフの構成は、今後の検討課題。

<基本調査>

個人に対する郵送調査を原則とする。従って、市町村のご協力を頂き、市町村が管理する住民票を基本として、当該住所に郵送する。ただし、避難所にいる被災者に対しては、当該市町村のご協力を頂き、避難所に一括して調査票を郵送し、一括して返送するものとする。

施設・病院等に入所・入院している場合も、避難所と同様に一括送付・返送とする。

＜詳細調査＞

詳細調査の調査会場は、高校生・成人においては、県内・県外、いずれにおいても、おもに、自治体の保健福祉センター、公民館、体育館、集会所等のほか、避難所とする。なお、高校生については、当該高校においての実施も検討する。健診の実施機関については、今後検討するが、保険者が実施する特定健診との相乗り等も考慮し、効率的実施を目指す。

また、震災時に中学生（15歳）以下であった小児全員（28万人）に対する甲状腺エコー検査を含めた詳細調査は医療機関の協力の下で実施するものとする。

具体的な調査フローは、今後の検討課題とする。

4）調査の事前説明、広報について

福島県が、下記の関連機関等の協力を得て実施することを。福島県立医科大学他、県内全市町村、避難者受入れ都道府県・市町村、放射線影響研究機関協議会、内閣府、経済産業省、文部科学省、厚生労働省、日本医師会、日本病院会、日本看護協会、技師会（放射線・臨床検査）、全国大学・学会等関連機関等に事前に説明する。

県は、県の広報、ホームページ他、あらゆる媒体を活用して、調査実施についての広報を行い、調査の意図、意義を県民に説明することとする。

また、詳細調査を実施する前には、市町村関係者、住民を対象とした説明会を実施する。

詳細は、今後の検討課題。

5）調査マニュアルの作成

基本調査は、自記式質問紙を用いて行うが、質問項目数も多数あり、その内容也多岐にわたっているため、調査の精度を担保するために、「調査マニュアル」を作成する。詳細は、今後の検討課題。

＜参考＞成人健康調査 調査項目・保存試料リスト（放影研・臨床研究部で、2年に一度来所してもらっている成人健康調査（Adult Health Study: AHS）での、臨床検査項目と保存試料）

健診項目

健診項目は、診察、病歴問診、自己記入式質問票調査（資料 6）および下記の通りである。病歴問診は、訓練された看護婦の聞き取りで行う。

A. ルーチン検査（検査の同意を得た全員に行う検査）

1. 身長、体重、ウエスト周囲径
2. 血圧、脈、体温
3. 検尿
4. 便潜血
5. 末梢血球数算定：赤血球数、白血球数、血小板数、Ht、Hb、白血球分類
6. 血液生化学検査：
 - 肝機能、
 - 腎機能、
 - 脂質（総コレステロール、中性脂肪、HDL コレステロール）、
 - 尿酸、
 - 電解質（Na、K、Cl、Ca、P）、
 - 血糖、HbA1c
7. 肝炎ウイルス検査：HBs 抗原・抗体、HCV 抗体（陽性の場合：HCV-RNA）（初回のみ）
8. 炎症関連検査：CRP、
9. 胸部X線検査
10. 胃がん検診（F1 調査：初回のみ）：胃 X 線検査、胃のヘリコバクター・ピロリ感染検査（呼気テスト）、血清ペプシノーゲン I、II
11. 心電図
12. 腹部超音波検査
13. 甲状腺超音波検査
14. 喀痰細胞診（多量喫煙者希望者）
15. PSA（男性 50 歳以上）
17. 抗 HTLV-I 抗体（長崎のみ）

B. 本人の希望や医師が必要と判断した場合

1. 婦人科検査（F1 調査：放影研で特定曜日に行う）
2. 栄養指導（放影研で保健婦が行う）

健診で次の疾患のある人および栄養指導希望者に栄養指導用パンフレットを使って栄養指導を行う。栄養指導の対象疾患は、貧血、高血圧、肥満、糖尿病、高脂血症、脂肪肝、骨粗鬆症、高尿酸血症（痛風）である。

3. 内視鏡検査、CT、MRI、マンモグラフィーなどの特殊検査は、他の医療機関に紹介する。

薬剤情報

持参された薬剤(医師に処方された薬[医療用医薬品]、薬局で購入した薬[一般用医薬品]、健康食品)について、薬剤師が薬剤コードを調べる。量、内服開始時期、終了時期を聞く。薬剤持参がない場合には、主要な薬剤(例えば、副腎皮質ホルモン、女性ホルモン、インスリン、血糖降下薬、血圧降下剤など)のリストについて聞き取り調査する。

研究用の保存試料

試料の種類	採取量	検体量	分注法	保存方法
血清	全血 3ml	1.2ml	0.3ml × 4vials	-80℃
血球 1 (血清を取り出した後のもの)			1vial	-80℃
EDTA 血漿	全血 2ml	0.8ml	0.4ml × 2vials	-80℃
リンパ球			1vial	-196℃ (液体窒素)
血球 2 (血漿、リンパ球を取り出した後のもの)			1vial	-80℃
尿 (遠心後の上清)	50-100ml	2ml	1ml × 2vials	-80℃

上記は完全な保存用であって、その他に、臨床検査用(項目は前述)の検体、および他の研究に用いる血液などがあり、採血量は 20ml になる(20ml を上限として、研究グループ間で調整している)。

以上を参考に、調査項目を選定する。

4. アウトカム評価

アウトカムの評価は、死因ならびに健康情報で行う。死因ならびに健康情報としては、人口動態統計死亡、地域がん登録ならびに健診情報である。

全県的な地域がん登録の整備が、不可欠であるが、それ以外に、脳卒中登録等を含め、疾病登録制度の整備が喫緊の課題である。

5. 地域運営協議会（仮称）、評価委員会（仮称）、国際諮問委員会（仮称）の設置

地域運営協議会（仮称）は、対象地区の自治体や関係機関等との協力体制を確保するため、地域運営協議会を設置し、調査の確実、かつ円滑な企画運営を行うとともに、住民に対する情報提供等を行う。

評価委員会（仮称）は、専門家によって構成し、原則的に毎年、調査の進捗状況管理、適切な調査運営を担保するために設置を検討する。

また、国際諮問委員会（仮称）は、本事業・調査の科学的妥当性を評価するためのものであり、その具体的な役割・規約等は、今後、検討する。

委員候補者を何人に委嘱するか等も今後検討とする。

6. スケジュール

2011（平成 23）年

- 5 月 13 日 ・「健康増進及び疫学調査に関する検討会（仮称）準備会
- 5 月 27 日 ・「ふくしま健康調査（仮称）」検討会の開催（県庁）
- ・以降は、未定。

・調査（実査）自体は、理想的には、3 か月以内に終了することが望ましい（目標）。しかし、調査退所者数が膨大であると考えられることもあり、6 か月以内の終了を目指す。

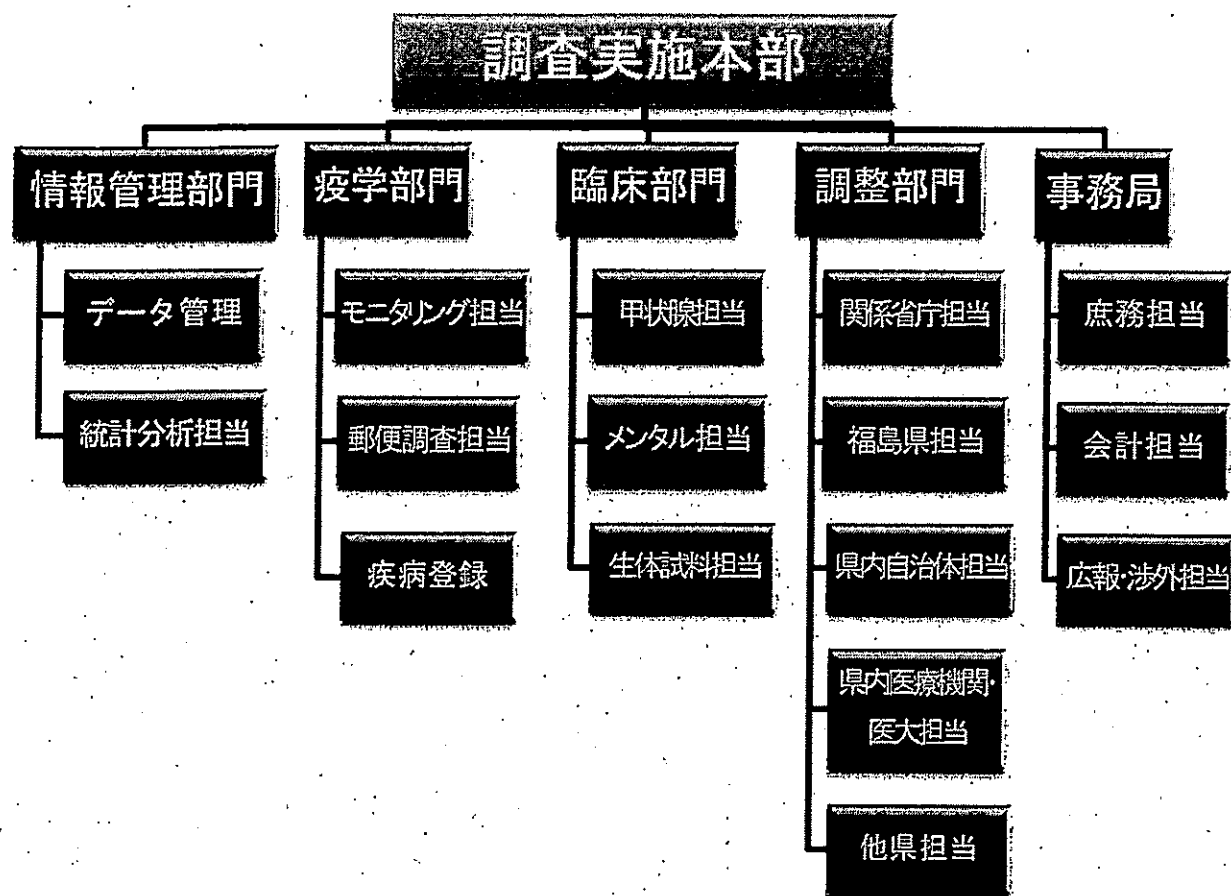
- ・被ばく放射線量の推計はできるだけ早く実施するものとする。
- ・併せて、基本調査・詳細調査の結果は可能な限り早く送付する。

2012（平成 24）年～2041（平成 53）年

○月 全県民を対象とした基本調査（質問紙調査）は毎年郵送にて実施する。

- ・2011（平成 23）年 3 月時点で、中学生（15 歳）以下であった県民（約 28 万人）については、震災発生 3 年後の 2014（平成 26）年以降、毎年、甲状腺超音波検査（エコー）を実施する。

7. 実施体制組織図



部 門	担 当	主 な 業 務
情報管理部門	データ管理	調査データの収集、整理、入力、チェック
	統計分析	随時集計、報告書作成
疫学部門	モニタリング	協力研究機関・国際諮問委員会と連携した疫学デザインの管理、調査員の研修、現地調査のモニタリング
	郵便調査	日本郵政と連携した、郵便調査の配布回収
	疾病登録	地域がん登録、その他疾病登録の整備 死亡小票との照会
臨床部門	甲状腺	甲状腺に関わる臨床的アセスメント
	メンタル	メンタルヘルスに関わる臨床的アセスメント
	生体試料	データ管理担当者と連携し、調査で収集した生体試料の一括管理

部 門	担 当	主 な 業 務
調整部門	関係省庁	厚生労働省、文部科学省など、関係省庁との連絡調整
	福島県	福島県保健福祉部、病院局など関係部署との連絡調整
	県内自治体	県内市町村との連絡調整
	県内医療機関・医大	福島県医師会、福島県看護協会、福島県立医科大学附属病院経営課と連携して、県内各医療機関との連絡調整
	他県	避難住民を受け入れている他県との連絡調整
事務局	庶務	調査本部の事務、調査物品の管理
	会計	調査本部の会計
	広報・渉外	調査実施に関する広報、問い合わせの対応、結果の随時報告

本組織図作成の参考資料

1. ICRP Publication 111
2. 児玉和紀. 放射線の健康影響－原爆被爆者におけるコホート研究－（スライド）
3. 福島県がん登録事業の概要
4. 放射線影響研究所組織図 (<http://www.rerf.jp/intro/org/index.html>)
5. World Health Organization. World Health Survey (<http://www.who.int/healthinfo/survey/en/>)

8. その他

・本件問い合わせ先

調査全体については、

福島県 保健福祉部？

福島県立医科大学 事務局企画財務課？

福島県立医科大学 「ふくしま健康調査（仮称）」実施本部？

<明石案>

ラベル貼付

平成 23 年度 ふくしま健康調査

問診票 (全年齢)

このたびは、調査にご協力いただきありがとうございます。

以下の欄にご記入いただく個人情報は、福島県が行う調査研究のためのみに使用し、一切公開することはありません。

※本調査票には、ご本人がご記入ください。ただし、乳幼児の場合には保護者の方が、高齢等によりご自分で記入できない場合には家族の方や同居されている方がご記入下さい。

受付番号

調査 I D

ご記入日：平成 23 年 ____ 月 ____ 日

回答者：☐ 本人 ☐ 代理 (続柄 _____)

ふりがな

ご氏名：

性別： 男 ・ 女

生年月日：明治・大正・昭和・平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

住民票上の住所：〒 ____ - ____

都・道
府・県

市・区
郡

区・町
村

本籍地 (国籍)：

都・道
府・県

市・区
郡

区・町
村

携帯電話番号※： (_____) - _____

※記入漏れなどの確認のために、調査担当者が直接お尋ねすることがあり、その際に必要となります。

現在、同居されている方がいますか。当てはまるものの□に✓を記入してください。

- ☐ 一人暮らし ☐ 家族と同居している (夫婦二人暮らしも含む)
☐ 施設で生活している ☐ その他 (_____)

中学生以下の方は、同居している家族を教えてください。(いくつでも✓)

- ☐ 母親 ☐ 父親 ☐ 祖父母 ☐ 兄弟姉妹 ☐ その他 (_____)

あなたは「放射線業務従事者」になったことがありますか。

- ☐ いいえ ☐ はい
☐ わからない→具体的なお仕事を書いてください (_____)

1-1. あなたの日々の生活状況を教えてください。

(別紙の記入要領に従って下の表に記入してください)

※3月11日から5月11日までの期間中、たとえばご家族など、どなたかと一緒に行動された方は、その方の整理番号を記入していただくことで、以下の質問の記入を省略できます。→整理番号：

※「典型的な生活パターン」は5ページの2-2.で4つまで記入していただき、その番号を下の表に記入してください。

※居住場所、外出先の「建物の造り」は、以下の選択肢から選んでください。

- ① 戸建/ 2階建て以下の建物 ② 3階建て以上の建物 ③ 屋外（車内も含む）

日	曜日	朝の居住場所 (居住場所を移動した場合は、その次の日の欄からお書き下さい)			典型的な生活パターン の場合 2-2.の番号	典型的な行動パターン以外の行動 外出先 (居住場所の区域番号を離れ、だいたい3時間以上外出した場合に記入してください。外泊も含む)				
		区域番号	建物の造り	近所への外出時間		区域番号	建物の造り	移動時間(往復)	屋内滞在時間	屋外滞在時間
3/11	金			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
12	土			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
13	日			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
14	月			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
15	火			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
16	水			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
17	木			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
18	金			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
19	土			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
20	日			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
21	春分の日			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
22	火			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
23	水			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
24	木			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
25	金			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
26	土			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
27	日			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	
28	月			約 時間			約 時間	約 時間	約 時間	

29	火			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
30	水			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
31	木			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
4/1	金			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
2	土			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
3	日			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間

4	月			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
5	火			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
6	水			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
7	木			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
8	金			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
9	土			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
10	日			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間

11	月			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
12	火			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
13	水			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
14	木			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
15	金			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
16	土			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間
17	日			約 時間				約 時間	約 時間	約 時間

日	曜日	朝の居住場所 (居住場所を移動した場合は、その次の日の欄からお書き下さい)			典型的な生活 パターン の場合 2-2. の 番号	典型的な行動パターン以外の行動 外出先 (居住場所の区域番号を離れ、だいたい3時間以上 外出した場合に記入してください。外泊も含む)				
		区域 番号	建物 の 造り	近所への 外出時間		区域 番号	建物 の 造り	移動 時間 (往復)	屋内 滞在 時間	屋外 滞在 時間
18	月									
19	火									
20	水									
21	木									
22	金									
23	土									
24	日									
25	月									
26	火									
27	水									
28	木									
29	昭和 の日									
30	土									
5/1	日									
2	月									
3	憲法 記念日									
4	みどりの 日									
5	こどもの 日									
6	金									
7	土									
8	日									
9	月									
10	火									
11	水									

1-2. 典型的な生活パターン(通勤通学、屋外作業等を含む)を教えてください。

※ 1-1. の表に記入する典型的な生活パターンを4つまで記入してください。

パターン①

あなたは、一日何時間くらい上記居住場所周辺の「屋外」にいらっしゃいましたか (近くへのお買い物、居住場所周辺でのお仕事・作業など)	
通勤通学等で居住場所の区域番号を離れ、外出しましたか? →「はい」の場合は以下の質問にも回答してください。	
外出先の区域番号を、別添の地図から選んでご記入ください	
外出先への往復の所要時間を教えてください	
外出先及びその周辺で何時間くらい「屋外」にいらっしゃいましたか	

外出先の居場所が屋外以外の方は以下の質問にも回答してください。

外出先の「屋内」に何時間くらいいらっしゃいましたか	
外出先の主な居場所について教えてください ① 2階建て以下の建物内 ② 3階建て以上の建物内 ③ その他 (内容をお書き下さい)	

パターン②

あなたは、一日何時間くらい上記居住場所周辺の「屋外」にいらっしゃいましたか (近くへのお買い物、居住場所周辺でのお仕事・作業など)	
通勤通学等で居住場所の区域番号を離れ、外出しましたか? →「はい」の場合は以下の質問にも回答してください。	
外出先の区域番号を、別添の地図から選んでご記入ください	
外出先への往復の所要時間を教えてください	
外出先及びその周辺で何時間くらい「屋外」にいらっしゃいましたか	

外出先の居場所が屋外以外の方は以下の質問にも回答してください。

外出先の「屋内」に何時間くらいいらっしゃいましたか	
外出先の主な居場所について教えてください ① 2階建て以下の建物内 ② 3階建て以上の建物内 ③ その他 (内容をお書き下さい)	

パターン③

あなたは、一日何時間くらい上記居住場所周辺の「屋外」にいらっしゃいましたか (近くへのお買い物、居住場所周辺でのお仕事・作業など)	
通勤通学等で居住場所の区域番号を離れ、外出しましたか? →「はい」の場合は以下の質問にも回答してください。	
外出先の区域番号を、別添の地図から選んでご記入ください	
外出先への往復の所要時間を教えてください	
外出先及びその周辺で何時間くらい「屋外」にいらっしゃいましたか	

外出先の居場所が屋外以外の方は以下の質問にも回答してください。

外出先の「屋内」に何時間くらいいらっしゃいましたか	
外出先の主な居場所について教えてください ① 2階建て以下の建物内 ② 3階建て以上の建物内 ③ その他 (内容をお書き下さい)	

パターン④

あなたは、一日何時間くらい上記居住場所周辺の「屋外」にいらっしゃいましたか (近くへのお買い物、居住場所周辺でのお仕事・作業など)	
通勤通学等で居住場所の区域番号を離れ、外出しましたか? →「はい」の場合は以下の質問にも回答してください。	
外出先の区域番号を、別添の地図から選んでご記入ください	
外出先への往復の所要時間を教えてください	
外出先及びその周辺で何時間くらい「屋外」にいらっしゃいましたか	

外出先の居場所が屋外以外の方は以下の質問にも回答してください。

外出先の「屋内」に何時間くらいいらっしゃいましたか	
外出先の主な居場所について教えてください ① 2階建て以下の建物内 ② 3階建て以上の建物内 ③ その他 (内容をお書き下さい)	

2. 3月11日から3月中に、自分の畑や果樹園、家庭菜園等で作られた作物や、市販の牛乳や、飼育している家畜の乳などをどれくらい食べましたか。

あてはまるものの□に✓を記入して、[]内には具体的に記入してください。

食品の種類	
自家栽培の野菜・果物 (露地栽培)	₁ ☐ 食べなかった ₂ ☐ 食べた → 種類は [] どのくらい食べましたか 小皿[]回、中皿[]回、大皿[]回、または [] 個 (小皿は直径 10cm 以下、中皿は 10～20cm、大皿は 20cm 以上として、普通に盛りつけた量を目安にしてください)
自家栽培の野菜・果物 (ハウス栽培)	₁ ☐ 食べなかった ₂ ☐ 食べた → 種類は [], どのくらい食べましたか 小皿[]回、中皿[]回、大皿[]回、または [] 個
市販の牛乳・ヨーグルト・など	₁ ☐ 飲まなかった、食べなかった ₂ ☐ 飲んだ、食べた コップ 1 杯を 200ml と考えて、毎日、平均、何杯くらい飲みましたか [] 杯/毎日
飼育している家畜の乳	₁ ☐ 飲まなかった ₂ ☐ 飲んだ → 家畜の種類は [] コップ 1 杯を 200ml と考えて、毎日、平均、何杯くらい飲みましたか [] 杯/毎日

3. 3月11日から3月中に、日常の飲食に主として使用した飲用水は次のどれですか。あてはまるものすべての□に✓を記入して、[]内には期間を記入してください。

- ₁ ☐ 水道水 日常的に飲用した期間 [3月____日から____日]
₂ ☐ 簡易水道または井戸水 日常的に飲用した期間 [3月____日から____日]
₃ ☐ ミネラルウォーター 日常的に飲用した期間 [3月____日から____日]
₄ ☐ その他 []

4. 3月11日から3月中に、「安定ヨウ素剤」を服用しましたか。

- ₁ ☐ いいえ ₂ ☐ はい → 服用日時 [____月____日] ₃ ☐ わからない

5. 3月11日から3月中に、あなたの放射線量をカウントされたことがありましたか。

- ₁ ☐ ない
₂ ☐ ある → ____月____日 測定場所 [] カウント数 []
 除染を行われましたか ₁ ☐ しなかった ₂ ☐ した

6. 平成 23 年 3 月 11 日時点の状況を教えてください（女性の方のみ）。

1) 妊娠していましたか。

☐ いいえ ☐ はい → 妊娠（ ）週

2) 授乳していましたか。

☐ いいえ ☐ はい

7. 出産と月経についておたずねします（女性の方のみ）。

1) 出産の経験がありますか。

☐ ない

☐ ある →

何人のお子さんを出産されましたか？ 人

最初のお子さんを出産した時の年齢は？ 歳

2) 現在の月経についてお教えてください。（一つだけに✓）

☐ 現在月経あり

☐ 妊娠中、産後のため現在月経なし

☐ 閉経した（手術による閉経も含む）

☐ その他の理由で現在月経なし

☐ これまで一度も月経なし

↓
月経が始まった年齢はいつでしたか。 歳

3) 問 17 の 2) で「閉経した」と答えた方におたずねします。

① 月経が終了した時の年齢は何歳でしたか？ 歳

② 月経が終了した理由は何ですか。

☐ 自然な閉経

☐ 外科的手術（卵巣や子宮の摘出）

☐ 放射線療法または化学療法

☐ その他（ ）

8. この支援活動では、質問票配布時に出来るかぎり係員が「放射線についてのご説明」をさせていただいております。

「放射線についてのご説明」は理解できましたか？ ① よく理解できた ② まあまあ理解できた ③ あまり理解できなかった ④ まったく理解できなかった	
「インターネットを通じた線量評価システム」の使い方は理解できましたか？ ① よく理解できた ② まあまあ理解できた ③ あまり理解できなかった ④ まったく理解できなかった	
この取り組みの前、ご自分の受けた放射線量に関するご心配はいかがでしたか？ ① 非常に心配であった ② やや心配であった ③それほど心配ではなかった ④ まったく心配ではなかった	
現在（この取り組みの後）、ご自分の受けた放射線量に関するご心配はいかがですか？ ① 非常に心配である ② やや心配である ③それほど心配ではない ④ まったく心配ではない	
「放射線についてのご説明」は役に立ちましたか？ ①はい ②いいえ ③どちらともいえない	

質問は以上で終了です。下の欄にご意見・ご感想などをご記入ください。
ご協力ありがとうございました。

放射線の影響についてご関心のある方は、配布資料「44のQ&A」をご覧ください。

平成 23 年度 ふくしま健康調査

問診票（全年齢）

このたびは、調査にご協力いただきありがとうございます。

以下の欄にご記入いただく個人情報、福島県が行う調査研究のためのみに使用し、一切公開することはありません。

※本調査票には、ご本人がご記入ください。ただし、乳幼児の場合には保護者の方が、高齢等によりご自分で記入できない場合には家族の方や同居されている方がご記入下さい。

受付番号

調査 ID

ご記入日：平成 23 年 ____ 月 ____ 日

回答者：₁☐ 本人 ₂☐ 代理（続柄 ____）

ふりがな

ご氏名：

性別： 男 ・ 女

生年月日：明治・大正・昭和・平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

本籍地（国籍）：

都・道
府・県市・区
郡区・町
村

住民票上の住所：〒 ____ - ____

都・道
府・県市・区
郡区・町
村

携帯番号※：（ ____ ） - ____

※記入漏れなどの確認のために、調査担当者が直接お尋ねすることがあり、その際に必要となります。

現在、同居されている方がいますか。当てはまるものの□に✓を記入してください。

₁☐ 一人暮らし ₂☐ 家族と同居している（夫婦二人暮らしも含む）

₃☐ 施設で生活している ₄☐ その他（ ____ ）

中学生以下の方は、同居している家族を教えてください。（いくつでも✓）

₁☐ 母親 ₂☐ 父親 ₃☐ 祖父母 ₄☐ 兄弟姉妹 ₅☐ その他（ ____ ）

あなたは「放射線業務従事者」になったことがありますか。

₁☐ いいえ ₂☐ はい

₃☐ わからない→具体的なお仕事を書いてください（ ____ ）

本調査は、あなたがいつ、どこで、どの程度、今回の原発事故による放射線を受けたかを調べるためにお聞きするものです。

1. 3月中に滞在した場所と期間についてお聞きします。

記入例にしたがって、3月11日～31日までの行動について記入してください

記入例

- ・地名は、〇〇市 □□ △丁目まで、〇〇町(村)大字小字まで記入してください。
- ・学校や公共機関などの場合は、名称だけでかまいません。
- ・屋外か屋内の別を明示してください。屋外にいた時間も記入してください。
- ・屋内については、概ね過ごした場所の種類を右の4つから選んで書き添えてください。

	時刻					説明
	0	6	12	18	24	
(例)		10:10 ①	②	12:00 ③		①自宅(富岡町□□△△) 屋内 a (屋外 1 時間) ②移動中 d ③田村市船引中学校、屋内 c (屋外 30 分)

a 木造
b コンクリ
c 避難所
d 車内

実際の行動

	0	6	12	18	24	説明
3/11(金)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/12(土)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/13(日)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/14(月)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/15(火)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/16(水)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/17(木)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/18(金)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内

実際の行動 (つづき)						
	0	6	12	18	24	説明
3/19(土)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/20(日)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/21(月)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/22(火)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/23(水)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/24(木)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/25(金)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/26(土)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/27(日)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/28(月)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/29(火)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/30(水)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内
3/31(木)						a 木造 b コンクリ c 避難所 d 車内

2. 3月11日から3月中に、自分の畑や果樹園、家庭菜園等で作られた作物や、飼育している家畜の乳などをどれくらい食べましたか。

あてはまるものの□に✓を記入して、[]内には具体的に記入してください。

食品の種類	
自家栽培の野菜・果物 (露地栽培)	☐ 食べなかった ☐ 食べた 種類は [] どのくらい食べましたか 小皿[]回、中皿[]回、大皿[]回 または [] 個 (小皿は直径10cm以下、中皿は10~20cm、大皿は20cm以上として、普通に盛りつけた量を目安にしてください)
自家栽培の野菜・果物 (ハウス栽培)	☐ 食べなかった ☐ 食べた 種類は [] どのくらい食べましたか 小皿[]回、中皿[]回、大皿[]回 または [] 個
飼育している家畜の乳(牛乳など)	☐ 飲まなかった ☐ 飲んだ 家畜の種類は [] コップ1杯を200mlと考えて、合計何杯くらい飲みましたか [] 杯

3. 3月11日から3月中に、日常の飲食に主として使用した飲用水は次のどれですか。あてはまるものすべての□に✓を記入して、[]内には期間を記入してください。

- ☐ 水道水 日常的に飲用した期間 [3月__日から__日]
☐ 簡易水道または井戸水 日常的に飲用した期間 [3月__日から__日]
☐ ミネラルウォーター 日常的に飲用した期間 [3月__日から__日]
☐ その他 []

4. 3月11日から3月中に、「安定ヨウ素剤」を服用しましたか。

- ☐ いいえ ☐ はい → 服用日時 [__月__日] ☐ わからない

5. 3月11日から3月中に、あなたの放射線量をカウントされたことがありましたか。

- ☐ ない
☐ ある → __月__日 測定場所 [] カウント数 []
除染を行われましたか ☐ しなかった ☐ した

5. 4月以降の滞在地についてお伺いします。

地名は、〇〇市 □□ △丁目まで、〇〇町(村)大字小字まで記入してください。

勤務先や通学先がない場合には、「なし」と記入してください。

学校名は名称だけでかまいません。

期間	滞在地
4月 1日 ↓ 月 日	居住地 県 市・郡 町 勤務先または通学先 県 市・郡 町 学校名 勤務先・通学先での滞在時間：1日あたり [] 時間 ただし、₁□ 土日は除く毎日 ₂□ その他（具体的に： ）
月 日 ↓ 月 日	居住地 県 市・郡 町 勤務先または通学先 県 市・郡 町 学校名 勤務先・通学先での滞在時間：1日あたり [] 時間 ただし、₁□ 土日は除く毎日 ₂□ その他（具体的に： ）
月 日 ↓ 月 日	居住地 県 市・郡 町 勤務先または通学先 県 市・郡 町 学校名 勤務先・通学先での滞在時間：1日あたり [] 時間 ただし、₁□ 土日は除く毎日 ₂□ その他（具体的に： ）
	その他、上記設問の回答に書ききれなかった特段の事情などがあれば、お書き下さい

本調査は、あなたがいつ、どこで、どの程度、今回の原発事故による放射線を受けたかを調べるためにお聞きするものです。

1. 3月中に滞在した場所と期間についてお聞きします。

記入例にしたがって、3月11日～31日までの行動について記入してください

- 地名は、〇〇市 〇〇 △丁目まで、〇〇町(村)大字小字まで記入してください。
- 学校や公共機関などの場合は、名称だけでかまいません。
- 屋外か屋内の別を明示してください。だいたいの屋外滞在時間、主な滞在場所も記入してください。

日付	時間帯	主な滞在場所 (5割以上いた場所に○)	屋外滞在時間	活動内容(主な滞在住所・移動経路)
記入例	0時～6時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	0時間	自宅就寝(双葉町長塚)
	6時～12時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	1時間	車で避難(双葉町長塚→南相馬市原町区)
	12時～18時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	4時間	避難所の外で活動(南相馬市原町区体育館)
	18時～24時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	0時間	避難所の中(南相馬市原町区体育館)
3/11 (金)	12時～18時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	18時～24時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
3/12 (土)	0時～6時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	6時～12時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	12時～18時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	18時～24時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
3/13 (日)	0時～6時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	6時～12時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	12時～18時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	18時～24時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
3/14 (月)	0時～6時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	6時～12時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	12時～18時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	18時～24時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
3/15 (火)	0時～6時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	6時～12時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	12時～18時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	18時～24時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
3/16 (水)	0時～6時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	6時～12時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	12時～18時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	18時～24時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
3/17 (木)	0時～6時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	6時～12時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	12時～18時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	18時～24時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
3/18 (金)	0時～6時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	6時～12時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	12時～18時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	18時～24時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
3/19 (土)	0時～6時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	6時～12時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	12時～18時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	
	18時～24時	木造 1/2 屋外 車内 避難所	時間	

